

令和5年7月16日
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦三球会 対 和白新町パイレーツ戦
一回表、三球会六番濱口選手のライト前タイムリーが決勝打に。
写真：ブルーマーリンズ 山本 憲明

奈多グラウンド テンポよく進んだ好投手戦

三苦三球会 (4勝1敗) 200040 6 鮎川○-藤澤
和白新町パイレーツ (2勝3敗1分) 100000 1 岩吉●-朝野

3BH：大津、岩本（三球会） **2BH**：岩本（三球会） 白岩2（新町パ） **盗塁**：山本（新町パ）

初回、三苦三球会の攻撃は、二番岩本選手の二塁打からチャンスを作り、二死から四番大津選手のライトを超える適時三塁打で1点を先制。その後も四球からチャンスを広げると六番濱口選手がライト前に運びさらに1点を追加する。パイレーツ岩吉投手はなんとか後続を打ち取り三球会の猛攻を2点に抑える。一回裏パイレーツの攻撃は、先頭の山本選手が四球で出塁し、すかさず二盗を決める。一死から三番白岩選手が華麗なバッド捌きで右中間へ適時二塁打を放ち1点を返す。その後、三球会鮎川投手は二死一二塁のピンチを背負うも、粘りの投球でパイレーツの反撃を1点に抑える。その後は両投手が躍動のピッチングを見せ四回裏までスコアボードに0を並べる。均衡を破ったのは五回表三球会の攻撃。一番船橋選手が四球を選び、続く二番岩本選手の適時三塁打、六番濱口選手の2点適時打などから一挙4点を奪い、試合を決定づけた。乱打戦を予想させる試合開始だったが、両投手の好投がひかり、引き締まった試合展開が野手の好プレーを引き出し盛り上がる試合となった。

（記事：ブルーマーリンズ 江頭 秀一、写真：山本 憲明）



試合前に内野の草取りをするブルーマーリンズの方々。



両チーム整列。



和白新町パイレーツ先発・岩吉投手。



三苦三球会先発・鮎川投手。



初回到適時三塁打を放つ三球会四番大津選手。



決勝打の三球会六番濱口選手。



初回反撃の二塁打を放つパイレーツ三番白岩選手。



パイレーツ反撃の1点で山本選手生還。



ストライク？ボール？バントを試みる今村選手。



好投した三球会鮎川投手と3安打の岩本選手。

青松園A 8安打8得点でフェニックス快勝！

奈多フェニックス（3勝2敗）23003 8 今林(勇)○、西藤一実延(新)

塩浜ジャガーズ（1勝4敗）00010 1 立石●ー竹尾

2BH：竹安2、太田、今林(勇)、実延(新)（奈多フ）

塩浜ジャガーズ立石投手、奈多フェニックス今林(勇)投手の両先発で試合開始。一回表奈多フェニックスが塩浜ジャガーズ立石投手の立ち上がりを攻める。二番三番が連続四球にワイルドピッチもあり三塁までランナーを進めると、四番西藤選手のあわやホームランかという当たりの犠飛で先制。続く五番今日がデビュー戦となる助安選手の二塁打でこの回2得点。続く二回もフェニックス八番実延(彰)選手、九番太田選手の連続ヒットに四死球・ワイルドピッチなどもあり3点を追加。何とか得点したいジャガーズだが奈多フェニックス先発、今林(勇)投手の前に三回まで八番福富選手の1安打のみに抑えられる。三、四回と無得点のフェニックスに対して、ジャガーズは四回裏、先頭の二番道喜選手が安打で出塁。三番、四番は連続三振に倒れるも、五番佐藤選手のレフト前、その後相手のエラー、ヒットなど11点を返す。追加点を取りたいフェニックスは五回表、一番望月選手がエラーで出塁すると二番今林(勇)選手の右中間二塁打で6点目。三、四番が倒れるも五番助安選手のこの日2本目の二塁打、六番実延(新)選手も二塁打で続き、相手守備のミスもありこの回3点を追加する。最終五回裏奈多フェニックスの守護神・西藤投手がマウンドへ。何とかランナーを溜め、得点したいジャガーズだが、西藤投手の前に三者凡退となり試合終了。終わってみれば奈多フェニックスが8安打8得点、今林(勇)投手から西藤投手へのリレーでジャガーズ打線を4安打1失点と試合をまとめ、フェニックスの快勝となった。

（記事・写真：奈多クラブ 安河内 祐貴）



塩浜ジャガーズ先発の立石投手。



奈多フェニックス先発の今林勇太投手。



一回表、犠飛を放つフェニックス四番西藤選手。



四回裏、チーム二本目の安打、ジャガーズ二番道喜選手。



五回表 追加点となる二塁打を放つ今林(勇)選手。



点差を縮めていきたいジャガーズベンチ！



フェニックス四番西藤選手。



最終回マウンドに上がるフェニックス守護神・西藤投手。



試合終了！暑い中お疲れ様でした。



四回1失点の好投、フェニックス・今林勇太投手(左)と二塁打2本を含む3安打の活躍、助安選手(右)。

青松園B 奈多サンデーズ打線爆発！ひとりを除いて先発全員安打で圧巻勝利！！

雁の巣ライナース (3勝2敗) 2 1 1 1 3 8 柴田●ー有村

奈多サンデーズ (4勝1敗) 1 4 5 2 X 12 木下○ー川原

HR: 佐藤(雁ノ巣ウ)、山崎(奈多サ) 3BH: 柴田、宮口、八島(奈多サ)

2BH: 野々下、八島(奈多サ)

一回表雁の巣ライナースは奈多サンデーズ先発の木下投手の立ち上がりを攻め、一番明瀬選手のバントヒットから二番久保田選手、三番有村選手の三者連続ヒットで幸先よく2点先取。しかし続く四番宇野選手の6-4-3のWプレーなどで2点止まり。その裏奈多サンデーズは、二番柴田選手、三番野々下選手の連打で1点返し、なおも満塁とするもライナース柴田投手が踏ん張り1点止まり。二回表、ライナースは先頭の六番佐藤選手の右中間を抜けるHRで1点追加。二回裏サンデーズは、この日が初出場の八番松本選手が初打席初安打を放つと、九番川原選手のバントヒットでランナーを溜め一番山崎選手が3ランHR。さらに六番八島選手の適時二塁打で計4得点と逆転に成功。三回表、ライナース一番明瀬選手のセンター前ヒットをサンデーズセンター山崎選手がトンネルし1点返上。その裏、サンデーズは八番松本選手がチェンジアップをうまく安打すると、二番柴田選手、五番宮口選手、六番八島選手の3本の三塁打を絡め一挙5得点で突き放す。四回、両チームさらに点を重ね迎えた五回表、ライナースはサンデーズ木下投手をクリーンナップの3連打等で捕らえ3点返し追い上げムードに入るが、後続を断たれゲームセット。猛暑の中、両先発が最後まで投げぬいた計26安打毎回得点の打撃戦は、打撃力に勝った奈多サンデーズが制した。(記事・写真: ソルトベイスターズ 山ノ川 史教)



雁ノ巣ライナース VS 奈多サンデーズ、打撃戦の始まり。



奈多サンデーズ先発の木下投手。



雁ノ巣ライナース先発の柴田投手。



二回表、HRを放ったライナース六番佐藤選手。



二回裏、3ランを放つサンデーズ一番山崎選手。

T・N	一	二	三	四	五	六	七	計
ライナース	2	1	1	1	3			8
サンデーズ	1	4	5	2				12

激しい打撃戦を物語るスコアボード。